



第15回



塔下町で
会いましょう

東京スカイツリーの
塔から

取材・文 伊東邦彦
撮影 伊東悦代

スカイライトチューブ 関東（牛久工務店）
採光ドームが並ぶ高橋邸の屋上。高橋さん家族と牛久光次さん、社員の中山大地さん。右下の「光の筒」を室内へと配管し、太陽光を導く。費用は1基20万円から。8～19時、無休。社内見学は要予約。☎03・3614・6333



光の筒で、部屋の中に
太陽がやってくる

チ

ヤップリンが作曲し、マイケルが一番愛した曲「スマイル」。その歌詞にこんな一節がある。「スマイル：空に雲がかかっているでも大丈夫、微笑めば光が射し込み」。墨田の牛久工務店で、スカイライトチューブ（太陽光照明）を初めて見たとき、まさにこんな感じだった。外はどんより曇り空なのに、部屋を照らす光は明るく、優しい。

「スカイライトチューブは室内に太陽光を導くものですが、天窗と違って熱や紫外線を持ち込みません。屋根に設置した採光ドームから反射率99・7%の特殊な筒で心地良い光だけを採り込みます」と、社長の牛久光次さん。オーストラリア生まれのこの新技術を17年前に初めて日本に導入。瓦屋根の日本家屋にも後付けできるよう、改良や工夫を重ねてきた太陽光照明のバイオニアだ。実際にスカイライトチューブを設置した住宅が東向島にあるというので案内してもらった。

スカイツリーがよく見える3階建ての屋上に採光ドームが5基。採り込まれた光が、リビングや洗面所を健やかに照らしている。「朝起きて夕方6時頃まで電気照明は使わないですね。節電になるし、なにより自然の光なので気持ちがいいんですよ」と、奥様の高橋美樹さん。その光の下で、誕生間もない暖かい君がすやすやと眠り、長女の実桜ちゃんがニコニコ笑顔で遊んでいる。

♪SMILE...、どこからかマイケルの歌声が聞こえてきそうだ。